

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		地域教育文化振興事業費				単位：円	
事業内容	子どもたちの学習環境の充実に目的に、児童生徒、保護者、地域関係者等を対象に、様々な課題に応じた講演会・研修会等を小中学校等と連携して開催する。			計画値	家庭教育ゼミナール開催 14回 家庭教育ゼミナール等参加者 1,200人 家庭教育講演会開催 1回		
	成果	1 小中学校と連携して「家庭教育ゼミナール」を市内14会場で実施。情報モラルや食育講座、東日本大震災の体験を踏まえた講演など、各校の課題やニーズに対応した講座を実施し、保護者などの家庭教育に対する意識の向上に取り組んだ。 2 学校・PTA・地域による実践活動について、市内2小学校と教育委員会から事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時開催した。秋田県東成瀬村の取り組みについての講演会と2小学校の事例発表を行い、地域の中で子どもたちを育てる機運を高めることができた。			実績値	家庭教育ゼミナール開催回数 14回 家庭教育ゼミナール参加者数 1,033人 地域で子どもを育てる活動発表会参加者数 280人	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
155,000	79,714	79,714	0	0	0		0

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		外国語指導助手招へい事業費				単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受け、児童生徒が本物の英語に触れる機会を設ける。			計画値	派遣学校数 14校 派遣回数 200回		
	成果	児童生徒が外国語指導助手の生きた英語に触れることで、英語力の4つの要素のうち、「聞く」「話す」のコミュニケーションに関する能力を養い、英語による表現力を育み、英語力の向上を図ることができた。 派遣回数：小学校85回、中学校120回、合計205回			実績値	派遣学校数 14校 派遣回数 205回	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
5,184,000	5,158,080	0	0	0	5,158,080		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					特色ある学校づくり事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計画値	実施学校数	14校
	成果	市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動を積極的に展開した。平成28年度は多くの学校で郷土芸能の伝承活動や農業を通じた食育活動に取り組んだ。 地域住民が講師となって授業が実施されており、遠野に伝わる伝統や文化に触れることに止まらず、児童生徒や学校が地域住民と繋がりをもつ貴重な機会となっており、地域に開かれた学校づくりの一助となっている。			実績値	実施学校数
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,400,000	1,250,763	0	0	0	1,250,763	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					平成・南部藩寺子屋交流事業費	単位：円
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 根城南部氏の縁でつながる八戸市との相互訪問による、交流活動を行う。 日常生活と環境の異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。			計画値	参加児童	26人
	成果	市内小学校11校の代表児童が一同に集まり、八戸市の児童と交流活動を行う中で、南部氏の歴史や両市の文化について学んだ。 学校とは異なる集団の中でのコミュニケーションの取り方やリーダーとしての在り方を学ぶとともに、ふるさと遠野の良さを自らを振り返ることができ、事業の目的とする人材の育成を図ることができた。 特に平成28年度は、30周年事業として八戸市児童との交流内容を一新したことにより、例年以上に活発な交流を行うことができた。 1 受入交流 7月26日から7月28日まで八戸市児童41人が来遠 2 派遣交流 8月3日から8月4日まで遠野市児童26人が八戸市を訪問			実績値	参加児童
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
829,000	760,000	0	0	0	760,000	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					特別支援教育推進事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。 要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。 市内小中学校に在席する外国人児童生徒に対し、日本語の個別指導を行う日本語指導講師を外国人児童生徒在席校に配置する。</p>			計画値	特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 3人	
	成果	<p>1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 【配置数 小学校11校(15人)、中学校1校(1人)】</p> <p>2 学習指導講師の巡回指導により、児童のニーズに応じて適切な「ことば」の指導が実施され、児童6人がことばの教室を退級できた。 【巡回指導実施数 6校、12人】</p> <p>3 外国人児童生徒が転入した小中学校に、日本語指導講師を配置して、日本語の習熟指導を行うとともに、学校生活でのコミュニケーション支援を行うことで、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援した。 【配置数 小学校1校(1人)、中学校1校(1人)】</p>			実績値	特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人 日本語指導講師の配置 2人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
18,311,000	17,788,015	0	0	0	17,788,015	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 児童の心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手やトップアスリート経験者が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを伝える授業を行う。</p>			計画値	実施校数 4校 実施回数 10回	
	成果	<p>各小学校では「夢の教室」をキャリア教育の一環として、児童が自分の将来を考えるきっかけづくりの一つとなるよう位置付けて取り組んだ。 児童たちは、夢先生の実体験に基づいた話に感動する姿が見られ、授業前後に実施したアンケートの結果では、授業後に「夢を実現すること」や「自信を持つこと」「失敗してもあきらめないこと」といった前向きな回答が、大幅に増加している。 【実施状況】 遠野小学校、遠野北小学校、宮守小学校(5・6年生) 青笹小学校(5年生)</p>			実績値	実施校数 4校 実施回数 10回
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,472,000	1,304,440	0	0	1,000,000	304,440	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					幼稚園応援事業費	単位：円
事業内容	市内に設置する私立幼稚園を運営する法人に対し、運営費及び就園等にかかる補助金を交付し、幼児教育の振興を図ることを目的とする。			計画値	市内私立幼稚園園児数 1園 57人	
	成果	<p>1 私立幼稚園運営費補助金 5月1日現在の児童数に2,500円を乗じた額に、400,000円を加えた金額を上限額とし、幼稚園環境整備費等について補助金を交付し、運営を支援した。</p> <p>2 私立幼稚園就園奨励費補助金 私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じて助成し、保護者の経済的負担を軽減した。</p> <p>3 私立幼稚園保育料助成事業補助金 私立幼稚園に児童を通園させている保護者の保育料から上記2の補助金額を減じた額を助成し、市内認定こども園及び保育所に通園させる保護者との経済的負担の均衡化を図った。</p>			実績値	<p>1 補助対象幼稚園 1園</p> <p>2 補助対象園児数（幼稚園就園奨励費） 56人</p> <p>3 補助対象園児数（幼稚園保育料助成） 35人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,966,000	8,874,700	2,421,000	0	0	6,453,700	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費															
事業名					高校魅力化サポート事業費	単位：円														
事業内容	<p>平成28年3月に岩手県教育委員会が策定した「新たな県立高校再編計画」の前期計画期間（平成28年～平成32年）において統合予定校とされた遠野高等学校及び遠野緑峰高等学校の2校を存続させ、地域の高校教育の質の維持と中学生の多様な進路希望を実現させることを目的に、「高校魅力化アクションプラン」を策定する。</p> <p>併せて、両校の特徴的な取組に対する各種支援策を実施するとともに、両校の魅力を市内外の中学生、保護者、市民等に広く周知することにより、入学者数の増加につなげる。</p>				計画	高校魅力化アクションプランの策定														
	成果	<p>1 高校魅力化アクションプランの策定 中高生及び保護者対象のアンケート調査結果の分析により、進学や進路に関する意向の現状等を把握し、遠野市総合計画審議会、遠野市総合教育会議、高校再編を考える市民会議等での意見を取り入れ、「高校魅力化アクションプラン」を策定した。</p> <p>2 両校の活動や魅力の周知に関する取組への支援 中学生や保護者への積極的な情報提供を行うとともに、中高生同士の交流や両校の新たな魅力の創出に関する取組への支援を行った。</p> <p>(1) 高校説明会の早期開催 (2) 両校の魅力紹介プロモーションビデオの作成業務委託 (3) 両校の一日体験入学への支援（中学生参加に係る送迎バス特別運行） (4) 高校生出前講座の実施、中学校文化祭への高校生の参加 (5) 両校の文化祭の周知支援（新聞折込チラシ配布、ケーブルテレビでの紹介） (6) 両校応援モバイルサイト「学び場遠野」の作成及び公開業務委託 (7) 地域学習やスマートフォンを活用した授業カリキュラムの検討、準備 (8) 小学校・中学校・高校教職員の授業交流会の実施 (9) 学力向上対策先進地視察研修（秋田県東成瀬村）の実施</p>				実績	高校魅力化アクションプランの策定 両校応援モバイルサイト作成及び公開業務委託 映像記録撮影業務委託並びに高校の魅力発信画像及び映像収集・記録業務委託													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		2,000,000			1,258,684			0					0			0				1,258,684

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費
事業名					単位：円
学力向上対策事業費					
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。</p> <p>市内小中学生（小2～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施する。その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題の解決に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。</p> <p>教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、その成果を市内小中学校へ還元する。</p>			計画値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>
	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」の評価研修等に取り組んだ。</p> <p>市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校区ごとに発表し合い、研究授業の成果を皆で共有した。また、先進地である秋田県東成瀬村の小中学校の授業の様子を視察することで、教員の意識改革が進んでおり、徐々に授業の質向上につながっている。</p> <p>遠野市教育研究所及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みの解消に努めた。また、適応指導教室を設置し、学校への登校が困難な生徒に対して、学校復帰に向けた支援を行うとともに、卒業に向けての進路指導等を行った。</p>				<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校で各1回</p>
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
21,744,000	19,742,000	0	0	0	19,742,000

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費
事業名					単位：円
特定教科集中対策事業費					
事業内容	<p>市内中学校に、教育委員会が指定する特定教科（平成28年度は数学）の学習支援を行うための特定教科学習支援員を配置する。</p> <p>特定教科学習支援員は、教科担当教諭と協力して、生徒の学習状況を具体的にとらえ、適切な指導・助言を行い、効果的な学習活動が展開できるよう授業のサポートを行う。</p>			計画値	<p>特定教科学習支援員の配置 3人</p>
	<p>市内中学校に1人ずつ特定教科学習支援員を配置し、1年生を中心とした数学の授業においてチームティーチングを行い、生徒一人ひとりの理解度に応じた指導が実践された。</p> <p>また、授業で学んだ内容の習熟状況を確認するための家庭学習プリントを作成し、生徒が繰り返し取り組むことで、「わかる」から一歩進んだ「できる」状態となるよう学習サポートを行った。</p>				<p>特定教科学習支援員の配置 3人</p>
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,120,000	3,095,550	0	0	0	3,095,550

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難な者に対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p> <p>【貸与額】 高校生 15,000円以内/月 大学生等 40,000円以内/月</p>			計 画 値	新規奨学生採用数 35人 うち大学生等 30人 うち高校生 5人 継続奨学生数 61人 うち大学生等 58人 うち高校生 3人	
	成果	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに27人の奨学生を決定し、継続奨学生59人と合わせて86人に奨学金を貸与した。</p> <p>平成29年3月末で、継続奨学生のうち24人が貸与期間を満了した。</p> <p>また、年度当初に2人、年度途中で2人の計4人から、自己都合による貸与辞退の申出があった。</p> <p>【貸付状況】 新規奨学生 11,680,000円 継続奨学生 26,460,000円 計 38,140,000円</p>			実 績 値	新規奨学生決定数 27人 うち大学生等 23人 うち高校生 4人 継続奨学生数 59人 うち大学生等 56人 うち高校生 3人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
38,260,000	38,178,066	0	0	38,178,066	0	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から小学校に通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小友小、附馬牛小、土淵小、宮守小、達首部小、鱒沢小に遠距離から通学する児童を対象に、スクールバス等を運行する。 路線バスで遠野北小に通学する松崎地区の児童を対象に、定期券を購入し配付する。 上郷小に通学する来内地区の児童の一部を対象に、タクシーを運行する。 遠距離（片道4km以上）から通学する児童を対象に、通学費を助成する。 教育課程における児童の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。 スクールバスを計画的に更新し、児童のより安全な通学に資する。 			計 画 値	スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、 タクシー1台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金 支給見込児童数 25人 スクールバス更新 1台	
	成果	<p>スクールバス等の運行により、遠距離から小学校に通学する児童の負担の軽減と通学時の安全が図られた。</p> <p>遠距離通学児童のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない児童に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>学校運営上必要な行事や、市が主催する各種事業等における児童の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。</p> <p>宮守小で使用しているスクールバスを更新し、より安全な通学手段を確保することができた。</p>			実 績 値	スクールバス等の運行 （バス5台、ワゴン3台、 タクシー1台、路線バス委託） 遠距離通学費補助金 支給児童数 22人 スクールバス特別運行 許可件数 176件 スクールバス更新 1台
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
35,151,000	33,921,441	3,770,000	10,400,000	0	19,751,441	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>小学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 また、国の補助事業を活用し、観察、実験等を通じた理科・算数の効果的な教育活動に資する教材備品を整備する。</p>			計画値	教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校	
成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入や、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる整備充実を図った。 また、理科・算数教材備品の整備により、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科・算数教材備品の整備内容】 宮守小学校：双眼実体顕微鏡、光電池 等 達曽部小学校：双眼実体顕微鏡、昆虫標本 等 鱒沢小学校：車輪式距離測定器、月と太陽の位置関係モデル 等 遠野小学校：顕微鏡、生物飼育用具 等</p>			実績値	教材備品購入数 64品目 図書購入数 1,540冊 パーソナルコンピュータ借上げ 375台 理科・算数教材備品整備 4校 購入数 29品目	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
14,096,000	13,917,257	479,000	0	400,000	13,038,257	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																								
事業名					就学援助費	単位：円																							
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、通学費、クラブ活動費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計画値	支給見込児童数 130人																								
成果	<p>就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災児童8人分の就学援助費については、国補助金(10/10)の対象として交付した。</p> <p>【項目及び支給内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(128人)</td> <td>1,388,480円</td> <td>通学用品費(120人)</td> <td>255,892円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(128人)</td> <td>241,672円</td> <td>新入学用品費(7人)</td> <td>143,290円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(30人)</td> <td>782,955円</td> <td>通学費(1人)</td> <td>8,000円</td> </tr> <tr> <td>クラブ活動費(3人)</td> <td>720円</td> <td>PTA会費(89人)</td> <td>288,430円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費(36人)</td> <td>300,360円</td> <td>学校病医療通院費(15人)</td> <td>18,270円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費(128人)</td> <td>5,255,244円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			学用品費(128人)	1,388,480円	通学用品費(120人)	255,892円	校外活動費(128人)	241,672円	新入学用品費(7人)	143,290円	修学旅行費(30人)	782,955円	通学費(1人)	8,000円	クラブ活動費(3人)	720円	PTA会費(89人)	288,430円	学校病医療費(36人)	300,360円	学校病医療通院費(15人)	18,270円	学校給食費(128人)	5,255,244円			実績値	支給児童数 131人
学用品費(128人)	1,388,480円	通学用品費(120人)	255,892円																										
校外活動費(128人)	241,672円	新入学用品費(7人)	143,290円																										
修学旅行費(30人)	782,955円	通学費(1人)	8,000円																										
クラブ活動費(3人)	720円	PTA会費(89人)	288,430円																										
学校病医療費(36人)	300,360円	学校病医療通院費(15人)	18,270円																										
学校給食費(128人)	5,255,244円																												
予算額	決算額	財源内訳																											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																								
9,017,000	8,683,313	583,258	0	0	8,100,055																								

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					小学校プール整備事業費	単位：円
事業内容	昭和44年に建築され、老朽化の著しい宮守小学校のプールを改築し、児童が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。			計画値	宮守小学校 プール改築工事 設計業務委託 工事監理業務委託	
	成果	平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の改築工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費92,255,000円を平成29年度に繰り越した。 学校の意見を取り入れ、児童の動線の確保及び施設管理の効率化を図るとともに、地盤の補強を盛り込んだ実施設計とした。			実績値	宮守小学校 設計業務委託
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
96,899,000	4,644,000	0	4,600,000	0	44,000	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	遠距離から中学校に通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 ・遠野中、遠野東中、遠野西中に遠距離から通学する生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 ・遠距離（片道6km以上）から通学する生徒を対象に、通学費を助成する。 ・教育課程における生徒の移動手段としてスクールバスの特別運行を行う。			計画値	スクールバス等の運行 （バス10台、ワゴン8台） 遠距離通学費補助金 支給見込生徒数 10人	
	成果	スクールバス等の運行により、遠距離から中学校に通学する生徒の負担の軽減と通学時の安全が図られた。 遠距離通学生徒のうちスクールバス等の通学対策の対象とならない生徒に対しては、遠距離通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 学校運営上必要な行事やクラブ活動等における生徒の送迎のため、スクールバス等の特別運行を行い、有効活用を図った。			実績値	スクールバス等の運行 （バス10台、ワゴン8台） 遠距離通学費補助金 支給生徒数 5人 スクールバス特別運行 許可件数 282件
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
47,762,000	47,283,095	0	0	0	47,283,095	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>中学校における教育活動に必要な教材備品及び図書を購入するとともに、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 教科書の改訂により必要となる教師用指導書及び指導資料を購入し、教員の指導力の向上と生徒の学力の向上に資する。 また、国の補助事業を活用し、観察、実験等を通じた理科の効果的な教育活動に資する教材備品を整備する。</p>			計画値	<p>教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材備品整備 3校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入や、読書による言語活動の充実を図るための図書の購入、情報教育の推進を図るためのパーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境のさらなる整備充実を図った。 教師用指導書及び指導資料を購入し、教員の指導力の向上を図った。 また、理科教材備品の整備により、観察、実験等を通じた実践的な教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>【主な理科教材備品の整備内容】 遠野中学校：電子てんびん、電気分解・燃料電池実験セット 等 遠野東中学校：天体望遠鏡、電源装置 等 遠野西中学校：電子てんびん、電源装置 等</p>			実績値	<p>教材備品購入数 22品目 図書購入数 553冊 パーソナルコンピュータ借上げ 164台 理科教材備品整備 3校 購入数 12品目</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
13,617,000	13,523,018	500,000	0	100,000	12,923,018	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費																									
事業名					就学援助費	単位：円																								
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、修学旅行費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費及び学校給食費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計画値	支給見込生徒数 115人																									
	成果	<p>就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。なお、下記のうち被災生徒4人分の就学援助費は、国補助金(10/10)の対象として交付した。</p> <p>【項目及び支給内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費(101人)</td> <td>2,200,380円</td> <td>通学用品費(62人)</td> <td>137,517円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費(101人)</td> <td>229,085円</td> <td>新入学用品費(35人)</td> <td>824,250円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費(30人)</td> <td>2,191,652円</td> <td>クラブ活動費(100人)</td> <td>2,080,960円</td> </tr> <tr> <td>生徒会費(101人)</td> <td>216,000円</td> <td>PTA会費(92人)</td> <td>234,000円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費(12人)</td> <td>73,670円</td> <td>学校病医療通院費(4人)</td> <td>5,520円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費(100人)</td> <td>4,889,624円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			学用品費(101人)	2,200,380円	通学用品費(62人)	137,517円	校外活動費(101人)	229,085円	新入学用品費(35人)	824,250円	修学旅行費(30人)	2,191,652円	クラブ活動費(100人)	2,080,960円	生徒会費(101人)	216,000円	PTA会費(92人)	234,000円	学校病医療費(12人)	73,670円	学校病医療通院費(4人)	5,520円	学校給食費(100人)	4,889,624円			実績値	支給生徒数 105人
学用品費(101人)		2,200,380円	通学用品費(62人)	137,517円																										
校外活動費(101人)	229,085円	新入学用品費(35人)	824,250円																											
修学旅行費(30人)	2,191,652円	クラブ活動費(100人)	2,080,960円																											
生徒会費(101人)	216,000円	PTA会費(92人)	234,000円																											
学校病医療費(12人)	73,670円	学校病医療通院費(4人)	5,520円																											
学校給食費(100人)	4,889,624円																													
予算額	決算額	財源内訳																												
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																									
13,627,000	13,082,658	610,584	0	0	12,472,074																									

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費		
事業名						中学校屋内運動場整備事業費	単位：円
事業内容	遠野東中学校屋内運動場は、昭和63年の旧青笹中学校屋内運動場としての建築後28年が経過していることから、大規模改造工事を実施し、施設の長寿命化を図る。			計画値	遠野東中学校 屋内運動場大規模改造工事 設計業務委託 工事監理業務委託		
	成果	平成28年11月に国庫補助金の決定を受けたため、年度内の大規模改造工事及び監理業務の発注が困難であることから、事業費73,482,000円を平成29年度に繰り越した。 学校の意見を取り入れ、大規模改造により既存の施設のさらなる利活用を図った実施設計とした。			実績値	遠野東中学校 設計業務委託	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
78,018,000	4,536,000	0	4,500,000	0	36,000		

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費		
事業名						プール改修事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	遠野西中学校のプールを改築し、生徒が安全に、かつ、安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。 平成27年11月の国庫補助金の追加決定を受け、平成28年2月から既存プールの解体を開始したため、事業を平成28年度に繰り越した。 【事業の概要】 工期 平成28年2月1日から7月29日まで 工事内容 プール改築（25メートル×14メートル、6コース） 附属建物（玄関、更衣室、トイレ、機械室及び用具室）			計画値	遠野西中学校 プール改築工事 工事監理業務委託		
	成果	プール改築工事を実施し、安全かつ安心な教育環境の整備を図った。 プール本体はメンテナンスと長寿命に長けたステンレス製とし、設備配管は点検及び修繕に対応しやすいピット型を採用した。また、生徒の利便性に資するため、温水シャワー設備を設置した。 トイレは汲取り式から水洗式に改修するとともに、清潔感ある洋式トイレを採用した。 ・完成年月日 平成28年7月29日 ・建築工事 34,411,440円 ・機械設備工事 7,067,440円 ・工事監理業務委託 1,836,000円 ・完成検査申請手数料 18,000円			実績値	遠野西中学校 プール改築工事 工事監理業務委託	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
43,736,000	43,332,880	26,416,000	7,500,000	0	9,416,880		

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					学びのまちづくり推進事業費	単位：円
事業内容	1 地区センターを地域社会教育の拠点として、各種の講座を開催する。 2 生涯学習講座や芸術振興事業について業務を委託し、民間活力を活かした生涯学習等の充実を図る。			計画値	継続的な講座数 5講座 生涯学習講座の受講者等 4,800人	
	成果	1 各地区センターでちぎり絵や手芸講座など、地域のニーズ把握に努め、各種講座を開催した。 2 生涯学習講座、芸術振興事業に関し業務を委託し、民間活力を活かした事業を推進した。 (1) 生涯学習講座 IT講座、郷土理解講座、絵画教室等 青少年活動サポート事業 少年少女ふるさと発見探偵団 囲碁・将棋教室 (2) 芸術振興事業 美川憲一コンサート(7月31日) 遠野市民センターバレエスタジオ 第39回発表会 遠野少年少女合唱隊 第27回発表会			実績値	継続的な講座数 10講座 生涯学習講座の受講者数 4,308人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
57,501,000	55,088,671	0	0	24,005,250	31,083,421	

10款	教育費	04項	社会教育費	01目	社会教育総務費	
事業名					若者と女性の活躍推進事業費	単位：円
事業内容	<p>1 青少年育成団体等に対する活動を支援する。 (1)成人式実行委員会 (2)わらすっこまつり実行委員会 (3)青年団体協議会 2 女性団体への活動支援を行う。</p>			計画値	<p>1 成人式対象者 250人 2 わらすっこまつり開催 3 記念事業の開催</p>	
	<p>1 青少年育成団体の活動支援 (1)成人式実行委員会 新成人が主体的に式典を運営するために実行委員会を組織し、式典の企画・運営を自ら行うことで新成人としての意識を高め、地域のために活動する意欲の醸成を図ることができた。 (2)遠野わらすっこまつり実行委員会 保育協会をはじめとする関係団体と協力し、様々な遊びや体験を通じて子どもたちの健やかな成長を促す機会を提供することができた。 (3)青年団体協議会 青年団体協議会に補助金を交付し、合併10周年記念式典やスポーツ事業、出会い創出事業への取組を支援した。 2 女性団体の活動支援 女性の視点で地域と暮らしを支える活動に取り組む女性団体に対し補助金の交付や助言・活動支援を行い、活動の活発化を図ることができた。 また、希望郷いわて国体では、郷土料理のお振る舞いを行い、全国からの選手や来場者を歓迎した。</p>				実績値	<p>1 新成人参加者 221人 2 遠野わらすっこまつり (他イベントと合同開催) 5,500人 3 合併10周年記念事業参加者数 200人</p>
成果	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,260,000	1,532,124	0	0	240,000	1,292,124

10款	教育費	04項	社会教育費	02目	公民館費	
事業名					地区センター改修整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	達曽部地区センター設置に伴い、事務室等の改修工事を完了する。			計画値	達曽部地区センター事務室設置改修工事	
	達曽部地区センター事務室等の改修工事を実施し、他の地区センターと同様に住民へのサービスの提供、地域の活動拠点施設として整備した。				実績値	
予	算	額	決	算	額	
				財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
				一 般 財 源		
4,555,000		4,459,212		0	0	0
				4,459,212		

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づける。「昔話」「歴史」「郷土芸能」「食」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計画値	語り部認定者数（累計） 800人	
	平成28年度の認定者数45人（昔話2人、子ども語り部37人、食5人、生業1人）で、累計者数は837人となった。語り部スクーリングのほか、食の語り部研修会、初心者向けの昔話教室などを開催し、新たな語り部の発掘に努め、計画値を上回ることができた。また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して語りを披露するなど、中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。				実績値	
予	算	額	決	算	額	
				財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
				一 般 財 源		
1,534,000		1,484,596		0	0	0
				1,484,596		

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費															
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円														
事業内容	<p>遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。 また、出版物の刊行やフォーラムの開催などにより、研究成果の公開や啓発を行う。</p>				計画値	<p>遠野文化研究センター活動の参加者数 400人 活動毎の参加者アンケート平均6点以上(11段階中)</p>														
	成果	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 遠野文化フォーラムの開催 平成28年8月21・22日(日・月) 内容：遠野文化賞表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表 講演・シンポジウム「『遠野物語』の新時代」 参加者：380人 市民講座(顧問等による講座・遠野学叢書講座などの土曜講座、金曜夜の読書会、遠野学会など)、開催数：19回、総参加者：447人 出版事業 遠野学叢書：(『三陸文化復興プロジェクト - 遠野1500日の記録』500部、『遠野案内』300部、『上閉伊西部教育資料郷土のすがた』300部)、遠野文化フォーラム報告書：300部 その他 平成29年に生誕150年を迎える郷土史家・台湾人類学者の伊能嘉矩の講座を遠野文化友の会と共催し、郷土研究に大きな足跡を残した伊能の功績を学ぶきっかけ作りを行った。また、貴重な郷土資料をデジタル化し保存するため、ボランティア活動により資料保存に努めた。 				実績値	<p>遠野文化研究センター活動の参加者数 827人 活動毎の参加者アンケート平均8.4点(11段階中)</p>													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
15,743,000			15,118,058			0			0		3,023,368					12,094,690				

10款	教育費	04項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					「遠野市史」編さん事業費	単位：円
事業内容	<p>『遠野市史』『宮守村誌』は、いずれも昭和50年前後の刊行で、発刊から40年以上が経過している。その後の市村合併を含め、市政の大きな変換期をまとめた現代編や通史編の必要性が求められているとともに、歴史的資料や人々の暮らしに関わる資料の散逸、途絶なども懸念される。</p> <p>「永遠の日本のふるさと遠野」として後世に引き継ぐべき資料を収集整理しながら遠野の歴史、文化を総合的にまとめるため、市史の編さんを行う。</p> <p>平成31年度 現代編刊行 平成38年度 通史編刊行 平成39年度 民俗編刊行 遠野南部氏遠野統治400年イベントの開催 平成28～38年度 編さん委員会、資料調査、執筆作業、収集資料を活用した講座などの開催による人材育成を進める。 遠野南部家資料、収集資料を収めた「資料編」は随時刊行する予定。</p>				計画値	各年度の事業進捗率100% 下記4項目*（1項目25%）すべてを実施した場合100%と設定 * 市史編さん委員会開催 資料収集、調査 刊行のための実務作業 教育普及・広報
	成果	<p>市史編さん委員会を開催し事業計画の審議、進捗状況の確認等を行った。また、調査研究員により資料収集や古文書解読作業を進めた。人材育成として、市史編さん講座や古文書講座など、遠野の歴史や文化に触れる学習機会を提供し、参加者アンケート結果は高評価であった。</p> <p>1 遠野市史編さん委員会2回開催 5月29日、11月27日 2 調査研究員活動 (1) 現代編担当 会議及び資料収集 17回 (2) 古文書担当 解読会 20回 3 資料調査 (1) 遠野南部家資料調査 2回 (2) 通史編に関する調査 7回 (3) 現代編に関する調査 1回 4 人材育成 (1) 市史編さん講座「中世の東北と遠野」 開催日：7月2日、参加者：64人 (2) 古文書講座「はじめての古文書」（夜の部） 開催日：11月17日、24日、12月1日、参加者：延べ58人 (3) 古文書講座「はじめての古文書」（午前の部） 開催日：1月19日、26日、2月2日、参加者：延べ41人 (4) 古文書整理ボランティア活動 登録者13人、活動回数9回 5 広報活動 市広報12月号で特集、ホームページ等 6 資料収集</p>				実績値
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,194,000	2,850,419	0	0	2,616,000	234,419	

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					図書館費	単位：円
事業内容	<p>読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を行なう。 図書館総合システムを活用し、図書館業務の効率化と迅速化を図る。 利用促進につなげるため、広報誌、ホームページ等の情報発信に努める。</p> <p>学校図書館、読書ボランティアとの情報共有をはかるとともに、学校図書館、児童館、福祉施設と連携し貸出につとめ配架図書の普及促進を図る。 移動図書館車の効率的な運行を推進し読書の普及に努める。 貴重な郷土資料、図書館資料の情報収集、整理、保存の適切な管理に努める。 まちなか図書室を活用して市民が読書に親しめる環境づくりに努める。</p>			計画値	<p>図書館の利用者数 16,300人 市民への図書貸出冊数 65,200冊 移動図書館車の貸出冊数 11,200冊 学校図書館等への貸出冊数 20,900冊</p>	
	<p>図書の貸出や図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子どもたちの本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。 児童を対象にした図書館教室、総合学習のための資料の貸出し、多読者表彰を実施し、図書館の利用と読書普及を図ることができた。 職場体験学習を中高生対象に実施したほか、職場体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。 移動図書館車を巡回し利用者の利便性を図った。 本の読み聞かせなど自主的に活動しているグループに館内外活動の支援として本の貸し出しを実施した。 岩手の読書週間に遠野地区学校図書館協議会と連携して、「読書と子ども」をテーマに講演会等を行い読書活動の推進を図った。 また、台風10号により水損被害を受けた図書資料を用いて、自然災害時などの有事において迅速な資料救出活動を行う人材育成のため「水損資料レスキュー」講習会を実施した。</p>				実績値	<p>図書館の利用者数 17,972人 市民への図書貸出冊数 68,528冊 移動図書館車の貸出冊数 11,899冊 学校図書館等への貸出冊数 20,930冊</p>
成果	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,641,000	23,149,175	0	0	24,693	23,124,482

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費		
事業名						博物館費	単位：円
事業内容	<p>特別展を開催し、遠野の歴史や民俗、文化について市内外に発信し、交流人口の拡大を図る。特別展「金山繁昌 黄金に魅せられた人々」や企画展「加守田章二とその弟子たち」、特別展「遠野のひな人形」を開催する。</p> <p>学校教育に対応した「博物館教室」を開催し、郷土愛の醸成を図り、豊かな人間性を有する人材の育成に努める。 市民対象の講座を開催し、文化に親しむ機会を提供する。 博物館資料の充実を図りながら、資料の収集・整理・保存に努める。</p>			計画値	博物館入館者数 20,000人 博物館講座等の受講者数 950人		
	成果	<p>夏季特別展「金山繁昌 黄金に魅せられた人々」や企画展「加守田章二とその弟子たち」を開催。遠野町家のひなまつりに合わせた特別展「遠野のひな人形」を開催、商工会と連携し中心市街地への集客に努めた。 児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <p>1 特別展「金山繁昌 黄金に魅せられた人々」(4,694人) 会期 平成28年7月22日(金)～9月19日(月・祝)</p> <p>2 企画展「加守田章二とその弟子たち」(1,810人) 会期 平成28年10月14日(金)～11月23日(水・祝)</p> <p>3 特別展「遠野のひな人形」(1,741人) 会期 平成29年2月10日(金)～3月12日(日)</p>			実績値	博物館入館者数 16,349人 博物館講座等の受講者数 1,131人	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,492,000	14,860,448	0	0	6,283,134	8,577,314		

10款	教育費	04項	社会教育費	04目	図書館博物館費		
事業名						ブックスタート事業費	単位：円
事業内容	<p>市内に生まれた赤ちゃんとその親、家族が本を通じたふれあいの中からお互いに幸せを感じ成長するための機会をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時から、本とふれあうことにより本に興味をもってもらう。 ・絵本、袋の配布 ・対象1歳児 ・ボランティアグループによる絵本等の読み聞かせ ・遠野市立図書館の利用案内 			計画値	読み聞かせ回数 12回 対象者 180組		
	成果	<p>健康福祉の里において、1歳児健康相談時に本等の配布を実施した。参加できなかった対象者へは、後日、民生児童委員を通じての配布を実施した。</p> <p>対象者 164組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳児健康相談時に配布 140組 ・民生児童委員による配布 24組 ・対象者に対する配布率 100% <p>1歳児健康相談時に絵本等の読み聞かせ、本の紹介、図書館への利用の促進を図ることができた。 少子化により対象者は微減しているものの、本を手にとって身近に活用できることから好評を得ている。</p>			実績値	読み聞かせ回数 12回 対象者 164組	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
400,000	399,176	0	0	317,000	82,176		

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化財調査保護費	単位：円
事業内容	文化や歴史を物語る貴重な文化財の調査・保護、啓蒙により、文化の向上を図る。 1 指定文化財及び一般文化財の調査、保護啓蒙の実施 2 民俗芸能の育成			計 画 値	民俗芸能の映像記録件数 平成28年度 24件（累計）	
	成果	「旧遠野寶物館」の調査を実施し国の登録文化財として価値付けを行なうと共に、「鞍迫観音堂算額」の調査を実施し県指定有形文化財として指定を受けた。指定文化財「青笹のエゾエノキ」の樹勢回復事業を実施して文化財の保護を図るとともに、「田屋の大杉」「早池峯神社黒門」「旧遠野寶物館」の文化財説明板3基を更新・新設して周知に努めた。 また、郷土芸能の保存育成を目的として、「細越しし踊り」「一日市南部ばやし」「白山神楽」「塚沢神楽」の4団体に対し、備品整備費用を補助した。活動支援を目的として「郷土芸能共演会」「神楽共演会」に支援を行った。			実 績 値	指定・登録 2件 文化財保護 2件 郷土芸能備品補助 4件 郷土芸能活動補助 2件 文化財説明板設置件数累計 93基 民俗芸能映像記録件数累計 24件
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,919,000	3,602,225	0	0	1,540,000	2,062,225	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	緊急開発に伴う発掘調査、埋蔵文化財分布調査・試掘調査・調査整理作業・調査報告書作成により各種開発事業の円滑な実施と埋蔵文化財の保護・活用を図り文化の向上に資する。			計 画 値	発掘調査等 1式 調査報告書作成 1式 文化財教室 2回	
	成果	各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。また、個人住宅建築に伴い「和山遺跡」の発掘調査を行って、消滅する遺跡の記録保存を図った。 公開活用を視野に市内遺跡出土遺物のデータベース作成を推進するとともに、企画展「佐比内鉄鉱山遺跡展」「ミニひな祭り展」を開催し調査成果を公開した。 「縄文土器作り教室」「勾玉作り教室」の文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓蒙に努めた。			実 績 値	遺跡照会回答数 142件 試掘調査 9件 本発掘調査 1件 データベース入力 7遺跡分3,022件 企画展開催 2回 埋文教室開催 4回 (参加者151人)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
9,896,000	9,854,912	2,400,000	0	22,000	7,432,912	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	<p>市民から推薦される地域の文化的資産を「遠野遺産」として認定し、光を当て、遺産をめぐる活動を支援することにより、市内にある文化的遺産、自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。</p>			計 画 値	認定件数 6件 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産標示板設置 3基	
	成果	<p>新規の遺産6件（新里の愛宕神社・卯子酉神社・程洞稻荷神社・長岡大日神社・鷹鳥屋獅子踊り・下同心丁枡形と法華題目の碑）を認定し、累計数が149件となった。 遠野遺産表示板等の設置、ガイドブック作成、広報遠野、視察・学習会対応を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。 また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等（鍋倉城跡、能傳坊神社、八坂神社、小友町裸参り、加茂神社、遠野南部ばやし、綾織駒形神社、新山神社、菅原神社、山口の薬師堂、行山流湧水鹿踊、一日市のお雛見）が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。</p>			実 績 値	認定件数 6件 ガイドブック作成 3,000部 遠野遺産表示板設置 3基 視察・学習会対応 6件
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,403,000	1,299,282	0	0	1,000,000	299,282	

10款	教育費	04項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅を今後100年保存活用していくため、保存修理工事を実施し、それにあわせて防災施設整備計画及び整備活用基本計画の策定に向けて、各種調査、有識者及び市民の意見聴取のための委員会等を開催する。事業の周知及び完成後に活用するため、整備事業の映像記録を行う。</p>				<p>保存修理工事 八セ小屋全解体、便所・鳥小屋全解体、土蔵、石蔵一部解体、共通仮設工事 防災施設調査 一式 整備活用調査 一式 整備事業映像記録 一式</p>	
					計画値	
成果	<p>1 保存修理工事 土蔵は1階床板の解体、石蔵は後補の腰壁モルタル塗の解体を行った。八セ小屋は部材の調査を行いながら全解体を行った。納屋は庇の一部を解体した。主屋及び土蔵の解体のための足場設置のため、外便所及び鳥小屋を解体した。解体部材の保存小屋を2棟設置し、防災道路からの仮設鉄橋を設置するなどの工事を実施した。</p> <p>2 整備活用基本計画の策定作業等 重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を2回、復原ワーキンググループを2回開催し整備に関して検討した。また、市民組織である重文千葉家の活用を考える会や高校生を交えて学習会等を行ったほか、周辺地域の建物等の各種調査を実施した。整備事業に関する映像記録を行った。</p> <p>3 防災施設整備調査 消火配管埋設位置掘削調査、稲荷社裏岩石ボーリング調査、避雷針接地抵抗調査、各種設備に関する調査を実施し、計画の素案をまとめた。</p>				<p>保存修理工事 八セ小屋全解体、便所・鳥小屋全解体、土蔵、石蔵一部解体、共通仮設工事 防災施設調査 一式 整備活用調査 一式 整備事業映像記録 一式</p>	
					実績値	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
62,331,000	59,696,827	34,794,000	14,400,000	0	10,502,827	

10款	教育費	05項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	<p>多くの市民がスポーツを通じて健康増進と豊かなライフスタイルを実現できる環境の整備・充実を図る。 児童・生徒の健全育成を目的に、スポーツ少年団の育成と活動を支援し、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努める。 スポーツ指導者の育成に努めるとともに、各種スポーツイベントを開催する。</p>				計画	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人 スポーツ団体運営等補助 3団体
	<p>第34回目となる「日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン」を8月28日に開催した。当日は、ホップ収穫祭も開催され、参加ランナーも気軽に足を運ぶなど市街地の活性化に寄与した。 児童・生徒の健全育成を図るため、スポーツ少年団の育成と活動を支援し3単位団が全国大会に出場するとともに、専門的指導者によるジュニアスポーツのレベルアップに努めた。 市内スポーツ大会の開催や競技団体の育成を図るため、遠野市体育協会を支援した。 また、トップアスリートの育成に定評のある指導者を招いてのスポーツ講演会を開催し、多くの参加者が指導法について学んだ。 国民体育大会には、7種目（サッカー、空手道、陸上、ソフトボール、ボクシング、馬術、スケート）に遠野市在住、在学、在勤等の選手13人が出場した。</p>				実績	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,634人 (市内445人、市外1,189人) スポーツ団体運営等補助 3団体 スポーツ講演・実技指導会の開催 全3回 スポーツ少年団全国大会出場 3単位団 国民体育大会出場 7種目13人 岩手県民体育大会出場 18種目210人 全国高校サッカー選手権大会出場に係る寄附金 3,000,000円
成果						
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
15,190,000	14,749,482	0	0	0	14,749,482	

10款	教育費	05項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					岩手国体運営事業費	単位：円
事業内容	<p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会が事業を展開するための費用を負担する。 国民体育大会サッカー競技少年男子の会場設営・撤去等を委託する。</p>				<p>希望郷いわて国体サッカー競技会場設営・撤去等業務</p> <p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会負担金 50,521,000円</p>	計 画 値
	成果	<p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会では、市からの負担金等を財源に、横断幕やポスターなどの啓発物品を製作し、国体の開催をPRした。また、炬火イベントや記念イベントの開催、花いっぱい運動として競技会場や観光施設等の歓迎装飾を行い、機運の醸成を図った。 希望郷いわて国体では、正式競技のサッカー少年男子全24試合を実施し、競技観戦のみならず、運営ボランティア、学校応援、エスコートキッズ、お振る舞い等、多くの市民が大会に関わった。 46年ぶりの開催となった希望郷いわて国体は、市民一丸となって創り上げ盛り上げた大会となった。</p> <p>来場者数 15,710人（延べ） 学校応援（全小学校・中学校・高校） 3,720人（延べ） エスコートキッズ 532人 花いっぱい運動（プランター数） 2,500個 ボランティア数（競技会補助員） 288人（延べ） 選手監督・競技役員等宿泊者数 2,364人（市内宿泊施設）</p>				<p>希望郷いわて国体サッカー競技会場設営・撤去等業務</p> <p>希望郷いわて国体遠野市実行委員会負担金 42,631,510円</p>
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
112,636,000	104,691,393	40,088,000	0	0	64,603,393	

10款	教育費	05項	保健体育費	02目	学校給食費	
事業名					学校給食事業費	単位：円
事業内容	<p>市内の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、伝統的な食文化と日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成すること、好ましい人間形成等を目標として学校給食を実施する。</p> <p>学校給食の実施にあたっては、遠野産の食材を使用し地産地消を推進するとともに、衛生管理を徹底し安全安心でおいしい給食の提供に努める。</p> <p>給食実施校数 小学校 12校（うち1校は特別支援学校） 中学校 4校（うち1校は特別支援学校） 給食供給人数 2,232人 年間給食実施回数 小中学校168回</p>			計 画 値	<p>年間給食実施回数 168回 米飯回数 126回 パン回数 42回</p> <p>学校給食食材に占める地産物使用割合 65.5%</p>	
	成果	<p>遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進と消費拡大を図るとともに、栄養バランスのとれたおいしい給食を安全かつ確実に提供することができた。また、国体おもてなしメニューを給食に取り入れ、多彩なメニューを提供した。</p> <p>アレルギー専用設備と人員配置により、アレルギーのある児童生徒に対し、主菜の代替食を継続して提供した。</p> <p>今年度から交流すまいる給食を実施し、給食食材の生産者や関係者との共食を通して、食文化や地域の農産物への理解など食育の推進に努めた。</p> <p>学校給食の試食の機会をPTAや学校関係者だけでなく、一般の方にも提供し、試食後のアンケートをその後の学校給食献立に反映させることができた。</p>			実 績 値	<p>年間給食実施回数 168回 米飯回数 126回 パン回数 42回</p> <p>学校給食食材に占める地産物使用割合 67.6%</p>
予算額		決算額	財源内訳			
209,690,000	208,615,803	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	101,405,629	107,210,174	

10款	教育費	05項	保健体育費	03目	体育施設費	
事業名					岩手国体サッカー会場整備事業費	単位：円
事業内容	<p>希望郷いわて国体サッカー競技少年男子の開催に係る遠野運動公園内の駐車場を整備し、サッカー競技等の備品を購入する。</p>			計 画 値	遠野運動公園駐車場整備工事 競技備品購入	
	成果	<p>希望郷いわて国体サッカー競技少年男子の開催に係る遠野運動公園内の駐車場整備を実施した。</p> <p>また、得点板・人工芝などの備品を購入した。</p>			実 績 値	遠野運動公園駐車場整備工事 競技備品購入
予算額		決算額	財源内訳			
12,081,000	11,006,280	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	911,000	10,095,280	

10款	教育費	05項	保健体育費	03目	体育施設費	
事業名					単位：円	
岩手国体サッカー会場整備事業費（繰越明許費）						
事業内容	1 国体記念公園市民サッカー場B面に散水栓設置工事を完了する。 2 遠野運動公園陸上競技場に侵入防止のフェンス及び門扉を設置する。			計 画 値	・市民サッカー場散水栓設置工事 ・遠野運動公園陸上競技場フェンス設置工事	
	成果	1 散水栓を設置したことにより、強風時にグラウンドの防塵対策を行うことができるようになり、良好な施設環境を構築することができた。 2 フェンス及び門扉を設置したことにより、利用時間以外の侵入者防止のほか、動物の侵入も解消し、施設管理の安全性を高めることができた。			実 績 値	・市民サッカー場散水栓設置工事 ・遠野運動公園陸上競技場フェンス設置工事 ・遠野運動公園陸上競技場観覧席防滑仕上工事 ・遠野運動公園陸上競技場サッカーサブポール基礎設置工事
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
26,331,000	19,232,640	0	0	19,188,880	43,760	